# GitHubリポジトリ解説

https://github.com/tk-yoshimura 吉村 拓馬

## **TensorShader**

#### ニューラルネットワークフレームワーク

TensorShaderCudaBackend
マネージコード (.NET5) から GPU ルーチンを呼び出すラッパー
NVIDIA cuda シェーダプログラムのコンパイル・実行
NVIDIA cudnn ニューラルネットワークのレイヤー処理の実行
NVIDIA cublas GPU 上の BLAS の実行

TensorShaderGPU メモリ管理、シェーダプログラムの動的コード生成 逆伝搬の定義、計算フローの最適化

## **MultiPrecision**

- 任意倍浮動小数点演算ライブラリ
  - 計算コストの大きい積を AVX2 によるベクトル演算高速化

- 三角関数、指数関数など基本的な関数だけでなく ガンマ関数、誤差関数を 2462 桁まで 実数次のベッセル関数を 612 桁まで正確に計算

- 検証が終わるまで 20 分もかかる膨大なテストケース

## **Double Double**

- Double-Double 演算 準 4 倍精度浮動小数点演算ライブラリ
  - Double-Double 演算 倍精度浮動小数点数を2つ組み合わせることで 30-31 桁の有効桁数を実現する演算手法
  - Boost 以上 Wolfram 以下の特殊関数実装数(ほとんど A&S を網羅) ガンマ関数、ベータ関数、誤差関数、逆誤差関数、虚数誤差関数 ベッセル関数、エアリー関数、シュトルーベ関数 楕円積分、ヤコビ楕円関数、三角積分関数、指数積分関数 実数軸上のリーマンゼータ関数、ディリクレイータ関数
  - 連分数、パデ近似、漸化式、算術幾何平均、 ガウス - ルジャンドル求積、ガウス - ルゲール求積などを用い計算

# DoubleDouble サブセット

- DoubleDoubleIntegrate
  - 数値積分 ガウス求積、ロンバーグ積分
- DoubleDoubleDifferentiate
  - 数值微分
- DoubleDoubleODE
  - 常微分方程式ソルバー
- DoubleDoubleComplex
  - 複素・四元数

## **ExRandom**

#### ・ 確率変数生成ライブラリ

- メルセンヌ・ツイスタによる疑似乱数生成
- 連続確率分布:39 種 ランダウ分布といった高エネルギー物理学に使われる分布まで
- 離散確率分布:10種 超幾何分布も実装
- 多次元変数確率分布: 8 種 フォンミーゼス・フィッシャー分布も実装
- 時系列確率変数 BlueNoise,PinkNoise など、べき減衰定数 α ∈ [-2, 2] のカラーノイズ生成

# その他のライブラリ

- Clustering: クラスタリングライブラリ
  - Kernel-SVM, K-means の実装
- GameTreeSearch: ゲーム木探索ライブラリ
  - alpha-beta 法, IDDFS 法の実装 状態と評価値を定義するだけでどのようなゲーム木も解ける ReversiWPF にソフトウェア実装
- CurveFitting: 曲線フィッテングライブラリ
  - Gauss-Newton 法, Levenberg-Marquardt 法による 微分値をもとに任意関数フィッティング
  - M推定によるロバスト曲線フィッテング

# その他のライブラリ

- ShapeFitting: 形状フィッテングライブラリ
  - 直線、円、楕円に対するフィッテング(ラグランジュ未定乗数法)
  - M 推定によるロバスト曲線フィッテング
- Algebra:基本的な線形代数処理ライブラリ
  - QR分解、LU分解、固有值解析
- Spline: 3次カーディナルスプライン補間ライブラリ
  - Catmull-Rom、Akima スプライン
- **Geometry**: 基本的な幾何ライブラリ
  - 交点・交線・交円を計算

# JSAI2021\_YHSRNv7

- 非線形斉次応答性 単一画像超解像モデル (JSAI2021 で口頭発表)
- 単一画像超解像モデルの学習には大量の高解像度写真が必要
  - →入手困難な場合も
- 斉次応答性の制約を与えるよう 活性化関数を工夫
  - →近傍エッジパターンに 線形応答することで 疑似生成画像のみで 実画像も超解像できるように







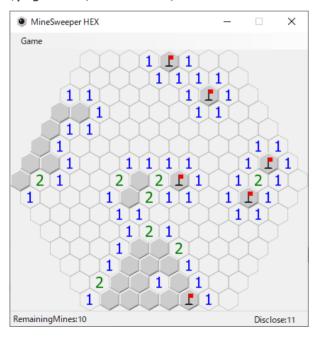






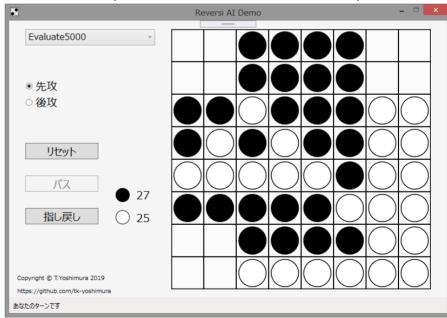
# ミニゲーム

• MineSweeperHEX 六角マインスイーパー



ReversiWPF

リバーシ(ゲーム木のテスト)



## **OwenT**

• 2 変数標準正規分布の重積分値 (誤差関数の 2 次元版)の 真値を生成する検証リポジトリ

- 既存のアルゴリズムは倍精度を超える精度では桁落ちが生じ 正しく求められないため、 任意倍浮動小数点でガウス求積法を用い、真値を検証
  - → Double-Double 用に実装

## LandauDistribution

• ランダウ分布の確率密度関数・累積密度分布の真値を生成する検証リポジトリ

• 確率密度関数が積分式であるため、求めるのが結構大変